

①津和野町部栄において、ツキノワグマ学習会を開催しました！

8月20日(日)に畑迫公民館において、「ツキノワグマ学習会～クマとの上手な付き合い方～」を開催しました。近年ツキノワグマの目撃が増えていることから、地元住民の方の要望により開催し、子どもから年配の方まで約20名が参加されました。

学習会では、クマの身体能力や食性などの生態について説明したほか、クマに出合わないための方法や、出合ってしまった場合の対処法について説明し、参加者には身を守る方法を実践してもらいました。

内容の要点としては以下のとおりです。

- ・クマの身体能力は高いが、基本的に性格は臆病。
- ・まずはクマに出合わないことが大切。
- ・クマのいる場所に行かない、こちらの存在を知らせる、クマを誘引しないことが大切。
- ・出合ってしまった場合も、冷静に対応する。
- ・出合った時はクマを見ながら後ずさりする、緊急時は防護姿勢をとる。

参加した住民からは、「クマについて知らなかったことを学べてよかった」「今回学んだクマに出合わない方法について実践したい」といった声がありました。

例年、秋になるとクマの出没が増加する傾向にあるため、日頃からクマに出合わないよう注意することが大切です。クマと人との距離が近づき、軋轢が生じている今だからこそ、人間側が正しい知識を持ち、クマと適切な関係を築いていけるようにしましょう。



学習会の様子



防御姿勢の実践

②益田翔陽高校が農大で林業学習を行いました！

8月23日(火)に益田翔陽高校の2年生18名が飯南町にある島根県立農林大学校林業科を訪問し、施設見学と実習体験をしました。

午前中は学校紹介を受けたのち、益田翔陽高校の卒業生である農林大生4名と意見交換を行い、農林大学校での生活や選んだ理由などを聞きました。その後、学生寮や林業研修館等の施設を見学しました。

午後からは農林大講師の指導と在校生の補助の下、チェーンソー、高性能林業機械、ハーベスタシミュレータ、動滑車を体験しました。

チェーンソー体験では、手鋸で丸太を切った後、チェーンソーを体験し、手鋸との差を実感していました。

参加した生徒からは「チェーンソー体験ができてよかった」「ハーベスタシミュレータが楽しかった」という感想がありました。

今回の体験実習で、生徒たちは林業や農林大への関心を深めていました。



農林大生との意見交換



チェーンソー体験



林業機械体験



ハーベスタシミュレータ体験